



# 谷原小だより 7月号

平成 28 年 7 月 1 日  
練馬区立谷原小学校  
校長 鈴木 英明

## ★まとめ、そして、夏休みへ 校長 鈴木 英明

4月に「新たな三学期制」として始まった一学期もまとめの月である7月を迎えました。保護者の皆様並びに地域の皆様には、本校の教育活動推進のために、ご支援・ご協力をいただいておりますこと、厚くお礼を申し上げます。

この間を振り返ってみますと、子供たちは始業式、入学式に始まり、運動会、校外学習、水泳指導等の様々な行事や学習に多くの人とかかわり合いながら、体験を積んできました。先週は、くすのき学級の子供たちがベルデ軽井沢にて宿泊学習を行い、集団生活の楽しさやルール等を学び、学校へと帰ってきました。子供たちが、授業や学校生活の中で子供たちなりに問題を解決し、友達同士で認め合っている様子が見られ、大変嬉しく思います。

子供たちは、誉められたり叱られたりしながら学校生活を送る中で、何が良いことなのか、何が悪いことなのかを学び、価値観を形成していきます。そして、子供たちの価値観の形成には、実際の体験や私たち大人の価値観が大きく影響します。子供の見せるちょっとした行動を見逃さないように見つめ、価値観を深めたり、社会性を身に付けさせたりすることができるよう今月も指導にあたっていきたいと考えております。

さて、まとめの時期にあたっては、子供たちの頑張りをどう評価していくかが、大切です。学期の終業時に子供たちが通知表「のびゆく芽」を持ち帰りますが、学習のようすの欄には、学習意欲、課題解決のために必要な思考力・判断力、基礎的な技能や表現力、基礎的な知識・理解という視点から見たお子さんの状況が記載してあります。子どものどんな力が発揮されたのか等、子どもの努力の様子をご確認ください。また、生活のようすで評価されていることは、学習面での意欲や成果につながる大切な要素です。さらに、子供たちの成長には、身体の成長や漢字・計算等のように目に見える成長と、目には見えにくい内面的な成長があります。各家庭において「のびゆく芽」を学校生活について子供と会話を交わす機会として活用し、学習面、行動面のよさや頑張りを大いに認め、励まし、内面的な成長も大切にしながら、これからの学習へ繋げる機会になればと考えております。

そして、今年の夏休みは42日間となります。今年度から始まった「新しい三学期制」では、7月21日からを二学期と位置付けています。夏休み中に一学期に学習したことを振り返り、二学期への成果としたいものです。

また、夏休み中は普段よりも時間をかけて体験ができる機会です。日常生活の中でも、工作や料理等のものをつくったり、関心のあることを調べたり、動植物を育てたり、家の仕事の一つに責任をもって取り組んだり、体力を高めるために運動に取り組んだりと様々な体験ができます。まず、夏休み中にめざしたい目標や計画を立て、そのことが、成し遂げられたと思える夏休みを過ごしてほしいと思います。学校でも夏季水泳指導、夏季学力補充教室、夏季自習教室を実施しますので、継続して学習に取り組めるようお声かけください。

しかしながら、子どもの学習意欲に喚起し、継続させていくかは、悩んでしまうところです。意欲が高まり、一生懸命に取り組めるのは、やはり周囲から肯定的に認められた時であろうと思います。「いいね」「大したもんだ」「すばらしいアイデアだ」等、子供にかける肯定的な言葉を数多く用意し、子ども達の成長に関わっていただければと思っています。

さらに、交通事故、誘拐等の変質者からの被害、水の事故、携帯電話やスマートフォン等の情報機器による事故・事件に巻き込まれること、万引きなどの悪いことに誘い込まれることのないようご注意ください。学校でも別途配布した「楽しい夏休み」や「夏休みの生活について」、「SNS 谷原小ルール」のように指導しましたが、ご家庭でも十分に話し合っって有意義な夏休みを送ってください。

## 春の読書旬間を終えて

図書担当 高見 博子

中国古文「孟子」より、『読書尚友』という言葉があります。書物を読むことによって、いにしへの賢人を友とする。つまり、本を通じて昔の優れた人を知れば、知識を得ることができるという内容の言葉です。学校生活の中でも、物語など、ストーリーを追って読み浸ること・社会や理科、総合的な学習の時間の調べ学習で、資料として調べ読みをすることなど、図書の時間以外にも読書の体験は多数取り入れられてきています。

ところが、読書の傾向を調べてみると、2極化が進み、本に興味のある子は周りの物音が聞こえなくなるほど本の世界に入り込んでいるけれど、本に興味を持ってない子は必要に迫られた時間にしか本を手にしていないことが分かります。(それでも週3回の朝読書の時間はじっくりと本を読んでいます)

そこで、今年度の春の読書旬間では、図書館司書の福田先生と図書委員の児童がコラボして、読書ビンゴを行いました。それぞれの学年の廊下に推薦された本、約30冊を用意していただき、ビンゴカードをクリアすると、図書委員が作ったシールがもらえるというものです。いつもはあまり手に取ることのないジャンルの本にも親しみをもって手にとってもらえました。

読書旬間中には、それ以外にも、1年生は、稲荷山図書館の方がいらしてくださって、図書館や図書室の過ごし方を教えてくださったり、大型絵本を読み聞かせしてくださったりしました。また、2年生は『9人の王様』のアニメーション。3年生は、国語事典を使って言葉調べ。4・5年生は、多読の進め『お試し読書』、6年生は、ビブリオバトルを司書の福田先生が行いました。

本と親しんだ10日間。読書旬間終了後、それぞれの児童が書いたおすすめの本の紹介カードを廊下側に掲示しています。保護者会や学校公開の折に是非お読みください。



## 通知表「のびゆく芽」について

教務主幹 野島 泰一

1学期がもう少しで終了します。4月からの学習の様子、生活の様子を通知表『のびゆく芽』にてお知らせをします。今年度から3学期制になっていることもあり、のびゆく芽は3回お渡しすることになります。

谷原小学校では、各教科は観点別で3段階評価、生活は7観点で3段階評価（1年生1学期は2段階評価）を行っています。いずれの評価もそれぞれの観点で十分に達成されていれば「よい」、その中でも特に抜き出て良い場合は「たいへんよい」がつきます。反対に目標とする段階に達していない場合は、「がんばろう」がついていますので、二学期からの学習、生活に生かしていただければと思います。

通知表『のびゆく芽』は7月20日（水）終業式の日にお子様にお渡しします。9月1日（木）から2学期が始まりますので、ご家庭でご覧いただきましたら、1学期通知表はご家庭で大切に保管し、クリアファイルは担任にご返却ください。また、祖父母の方に見せたり、受験等に使用されたりする場合は、コピーをとってお使いください。

## 1年生より

1年学年主任 田代順子

毎日一文字ずつひらがなの学習を進めています。宿題でも練習しているので、書き慣れてきました。

6月には国語で説明文の勉強をしました。「きつつき」「おうむ」「はちどり」の「くちばし」の説明文です。それぞれの鳥についてノートに写しました。だいたいノート2ページの内容です。時間の中で、きちんと写せた子がほとんどでした。入学してまだ3ヶ月なのにすごい進歩だと思います。

また、「くちばし」では説明文の形について学習しています。この文章は「ヒント」「もんだい」「こたえ」「せつめい①」「せつめい②」の5つの基本的な形でできています。3番目の「はちどり」になるとその段落がどの形にあたるか発表できる児童が増えました。説明文の形がかなり理解できてきたようです。

まとめとしてその型を使って、自分が選んだ「たか」「かわせみ」「すずめ」などの鳥の中から文章を書きました。とても難しい課題ですが、頑張って挑戦しました。

子供たちの進歩の早さに感心しています。毎日の学習でたくさんのお話を身に付けている1年生です。

生活科で裏庭の畑に「まつばぼたん」「ひやくにちそう」「マリーゴールド」「ひまわり」「コスモス」「おしろいばな」を蒔きました。種の観察をしたときには種類によって種の形が違うことに驚いていました。子供たちは花の芽が成長していくのをとても楽しみにしています。

## 校内研究について

研究主任 中野拓郎

今年度の校内研究のテーマは「主体的に学ぶ児童を育成する指導の工夫」となりました。

谷原っ子を見ていると、とても素直で、学習にも生活にも取り組むことができます。ただ、「もっと詳しく」「なんでこうなるんだろう」と考える子が少ないように感じます。まさにそれが「主体的に学ぶ」ということです。これから小学校、中学校、高校、大学、そして社会に出ていく上でとても大切な力であると考えました。自ら学び、自ら考えて、児童が中心の授業を作っていきたいと考えています。

各学年1回とくすのき学級で1回計7回の授業を行っていき、児童の学ぶ姿勢を育てていきたいと考えています。

## 遊び場開放について

副校長 朝井 貴世

校庭改修により長らく中止していた遊び場開放は再開しています。

平日の放課後、土日の午後は学校の校庭で思い切りかけまわって、遊んで下さい。開放している時間には開放指導員さんがいます。ルールを守って、楽しく遊んで下さい。開放の時間は以下の通りです。

**平日の放課後（ひろばと同時に開放）  
土日の午後（第2、第3日曜日を除く）**

**時間 14:00～17:00**

# 7月の予定

日	曜	予定
1	金	保護者会 135年くすのき 14:45~
2	土	
3	日	
4	月	安全指導 5時間授業
5	火	美化日 交通安全教室 1年
6	水	七夕集会
7	木	都学力調査 5年 自転車教室 3年
8	金	健康の日 水道キャラバン 4年
9	土	学校公開② 救命講習 6年
10	日	
11	月	クラブ⑥
12	火	
13	水	避難訓練 校内研究のため4時間授業
14	木	
15	金	特別時程 星空宅配便 4年
16	土	夏祭り
17	日	
18	月	海の日
19	火	着衣泳 456年 下田移動教室説明会 6年
20	水	1学期終業式 給食終
21	木	夏季休業日始 夏季水泳指導 学力補充教室
22	金	↓ ↓
23	土	
24	日	
25	月	↓ ↓
26	火	↓ ↓
27	水	
28	木	↓
29	金	夏季水泳指導前半終了
30	土	
31	日	
日	曜	8月後半予定
23	火	夏季水泳指導後半始
26	金	夏季水泳指導終了
31	水	夏季休業日終
1	木	2学期始業式 給食始

生活指導

生活指導主幹 村上美予子

より

## SNSのルール作り

あと3週間ほどで夏休み。今年の夏休みには、どんな楽しいことがまっているでしょうか。家族の大切な思い出がまた一つ増えることと思います。

さて、6月・7月の保護者会でもお願いしましたが、SNSのルールについて、今年の夏休みに取り組んでいただきたくお知らせいたします。

パソコンや携帯、ゲーム機などは便利で楽しい道具である反面、子供たちがトラブルに巻き込まれ、被害者や加害者になったりするといった深刻な問題を引き起こしています。また、デジタル機器の長時間使用は、生活習慣の乱れや家庭でのコミュニケーション不足に繋がります。昨年度4年生以上の児童に「インターネット・携帯電話の利用に関するアンケート調査」を行った結果、使うときのルールを家庭で決めているとの回答も多くありました。谷原小の児童間や学校内・外でのトラブルがほとんど聞かれないのは、保護者の方が子供の利用状況を把握し、責任をもって管理をされているからと言えるでしょう。

ルールを決めているご家庭も、決められていないご家庭も、この夏休みにもう一度 SNS の危険性についてお子さんと話す機会をもち、ご家庭の現状に合わせて親子共通理解のもと、具体的で守りやすい「SNS 家庭ルール」の策定をお願いいたします。

## SNS 谷原小ルール

- 1日に使用できる時間、時間帯を決めよう。
- 個人が特定できる情報は、流さないようにしましょう。
- 誰も傷つかないように相手の気持ちを考えて発信しよう。
- フィルタリングをつけて利用しよう。



## 通知表『のびゆく芽』について

1学期がもう少しで終了します。4月からの学習の様子、生活の様子を通知表『のびゆく芽』にてお知らせをします。今年度から3学期制になっていることもあり、のびゆく芽は3回お渡しすることになります。

谷原小学校では、各教科は観点別で3段階評価、生活は7観点で3段階評価（1年生1学期は2段階評価）を行っています。いずれの評価もそれぞれの観点で十分に達成されていれば「よい」、その中でも特に抜き出て良い場合は「たいへんよい」がつきます。反対に目標とする段階に達していない場合は、「がんばろう」がついていますので、二学期からの学習、生活に生かしていただければと思います。

通知表『のびゆく芽』は7月20日（水）終業式の日にお子様にお渡しします。9月1日（木）から2学期が始まりますので、ご家庭でご覧いただきましたら、1学期通知表はご家庭で大切に保管し、クリアファイルは担任にご返却ください。また、祖父母の方に見せたり、受験等に使用されたりする場合は、コピーをとってお使いください。